第12回 栃木市・岩舟町合併協議会 会議録

平成25年7月29日（月）午後2時00分
岩舟町健康福祉センター「遊楽々館」

栃木市・岩舟町合併協議会

会 議 録

会 議 の 名 称		第 1 2 回 栃 木 市 ・ 岩 舟 町 合 併 協 議 会	
開 催 日 時		平 成 2 5 年 7 月 2 9 日 (月) 1 4 時 0 0 分 開 会 ・ 1 5 時 0 0 分 閉 会	
開 催 場 所		岩 舟 町 健 康 福 祉 セ ン タ ー 「 遊 楽 ヲ 館 」	
議 長 氏 名		鈴 木 俊 美	
出 席 者 及 び 欠 席 者 氏 名		別 紙 1 の と お り	
事 務 局 氏 名		別 紙 1 の と お り	
会 議 事 項	1 議 題 別 紙 2 「 会 議 事 項 」 の と お り		2 会 議 結 果 ・ 審 議 事 項 議 案 第 1 5 号 原 案 の と お り 確 認 議 案 第 1 6 号 原 案 の と お り 確 認 議 案 第 1 7 号 原 案 の と お り 確 認
	会 議 の 経 過 (議 事 の 要 旨)		
会 議 資 料	第 1 2 回 栃 木 市 ・ 岩 舟 町 合 併 協 議 会 次 第 ・ 座 席 表 ・ 委 員 名 簿 第 1 2 回 栃 木 市 ・ 岩 舟 町 合 併 協 議 会 会 議 資 料		
そ の 他 の 事 項			
会 議 録 の 確 定			
確 定 年 月 日		記 名 押 印	
平 成 2 5 年 8 月 8 日		委 員 _____ 大 川 秀 子 _____ ⑩ 委 員 _____ 大 島 治 _____ ⑩	

別紙1 出席者及び事務局

出席者（委員）

会 長	鈴木 俊美	副会長	市村 隆
委 員	山本 元久	委 員	山崎 仁一
委 員	高岩 義祐	委 員	氏家 晃
委 員	渡邊 仁一	委 員	富田 清
委 員	大川 秀子	委 員	梅澤 米満
委 員	栃木 孝	委 員	茂呂 健市
委 員	赤堀 明弘	委 員	和久井 紀明
委 員	臼井 浪之助	委 員	大橋 重
委 員	大島 常子	委 員	柴田 保男
委 員	小倉 久緒	委 員	佐山 耕基
委 員	大島 治	委 員	恩田 孝子
委 員	安藤 宣好		

出席者（規約第10条第4項に基づく関係職員等）

小川 昌樹（栃木県総合政策部次長兼市町村課長）

出席者（監査委員）

板倉 安秀

欠席者（規約第10条第4項に基づく関係職員等）

中村 祐司（宇都宮大学国際学部大学院国際学研究科教授）

欠席者（監査委員）

池田 務

出席者（幹事）

幹 事 和久井 弘之（栃木市総務部長）

幹 事 川 島 章男（岩舟町企画課長）

幹 事 五十畑 恵造（岩舟町総務課長）

欠席者（幹事）

幹 事 赤羽根 正夫（栃木市総合政策部長）

出席者（事務局）

天海 俊充（事務局長）

山野井広実（総務チームリーダー）

糸井 孝王（事務調整チームリーダー）

原 雄一郎（事務調整班）

上岡 誠志（総務班）

別紙2 会議事項

1 開 会

2 会長あいさつ

3 議 事

(1) 報告事項

- 報告第13号 平成25年度栃木市・岩舟町合併協議会予算の専決処分について
報告第14号 合併協定項目の具体的な調整結果について
報告第15号 合併協定項目以外の主な調整結果について
報告第16号 合併に係る啓発用品等について

(2) 審議事項

- 議案第15号 平成24年度栃木市・岩舟町合併協議会歳入歳出決算について
議案第16号 平成25年度栃木市・岩舟町合併協議会補正予算（第1号）について
議案第17号 平成25年度栃木市・岩舟町合併協議会事業計画について

4 第13回栃木市・岩舟町合併協議会の開催日時について

- 日 時 平成25年11月25日（月）午前10時から
会 場 栃木市国府公民館

5 そ の 他

6 閉 会

別紙 3

(会議の経過)

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
天海事務局長	<p>1. 開会</p> <p>定刻となりましたので、ただいまから第12回栃木市・岩舟町合併協議会を開会いたします。私は、司会進行を務めさせていただきます、合併協議会事務局の天海です。よろしくお願いいたします。</p> <p>本日の会議は、お手元の会議次第に沿って進めさせていただきますので、ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。</p>
天海事務局長	<p>2. 会長挨拶</p> <p>それでは、次第2「会長あいさつ」に入ります。</p> <p>会長であります、鈴木栃木市長からごあいさつ申し上げます。</p>
鈴木会長	<p>皆さん、こんにちは。</p> <p>当合併協議会、開催久しぶりでございます。協議会委員の皆様、並びに傍聴者の皆様におかれましては、お久しぶりでございますが、今日は何卒よろしくお願いいたしますを申し上げます。これまでのところ、お蔭様で合併協議、順調に進んでおり、残すところあと数回でいよいよ来年の4月5日の合併の日を迎えようとしているわけであります。とは言え、最後まで決して手や勢いを尽くことなく、最後の最後まできちんと協議をし、そして、皆さんで合意をし合って合併のその日を迎えたいと思っておりますので、今日も何なりと皆さんのご意見やご要望等をお聞かせをいただきたいというふうに思います。</p> <p>それでは、今日も何卒よろしくお願いいたしますを申し上げまして、久しぶりの皆様とお会いしたごあいさつとさせていただきます。</p> <p>今日はよろしくどうぞお願いをいたします。</p>
天海事務局長	<p>ありがとうございました。</p> <p>次に、次第の3「議事」に入りますが、事務局から議事に先立ちまして、会議運営等に関しましてご報告させていただきます。</p> <p>まず、委員の変更でございます。</p> <p>栃木市議会 6月議会において、副議長が交代されております。氏家副議長におかれましては、今回初めての会議出席となりますので、ご紹介させていただきます。</p>

氏家委員	<p>栃木市議会 副議長 氏家 晃 様でございます。</p> <p>はい。</p> <p>ただいまご紹介いただきましたとおり、6月議会におきまして、新しく副議長となりました氏家です。協議会の委員にもなったわけですが、これからどうぞよろしく願いをいたします。</p>
天海事務局長	<p>ありがとうございました。</p> <p>次に委員等の出欠でございますが、栃木市の岩下委員におかれましては、所要により欠席。また、オブザーバーの中村先生におかれましては、公務にて欠席とのご連絡をいただいております。</p> <p>本日の出席委員は21名で、定足数に達しておりますことをご報告いたします。</p> <p>次に、本日の会議録署名委員でございますが、本日の署名委員は、栃木市の 大川委員 と 岩舟町の 大島委員 をお願いいたします。</p> <p>最後に、委員の皆様をお願いがございます。</p> <p>会議中にご発言いただく際には、職員がマイクをお持ちいたしますので、最初に市町名とお名前をおっしゃっていただいから、ご発言願いたいと思います。</p> <p>どうぞ、よろしく申し上げます。</p> <p>それでは、会議の議長につきましては、規約によりまして、会長があたることとされておりますので、鈴木会長、よろしく願いします。</p>
鈴木会長	<p>3. 議事</p> <p>はい。それでは、お聞きのとおりでございます。議事を進めさせていただきますので、よろしく願いをいたします。</p> <p>さっそく議事に入ります。</p> <p>(1) 報告事項</p> <p>報告第13号 平成25年度栃木市・岩舟町合併協議会予算の専決処分について</p> <p>まず(1)報告事項 であります。報告第13号 平成25年度栃木市・岩舟町合併協議会予算の専決処分について 事務局より説明願います。</p>

山野井 T L

はい。総務班 山野井でございます。よろしくお願いいたします
ます。

会議資料①の 1 ページをご覧ください。

「報告第 1 3 号平成 2 5 年度栃木市・岩舟町合併協議会予算の
専決処分について、合併協議会財務規程に基づき、別紙のとおり
専決処分をしたので報告する。」というものでございます。

2 ページ、3 ページをご覧ください。

平成 2 5 年度歳入歳出予算につきましては、今年 1 月に開催さ
れた第 1 0 回合併協議会において、委員の皆様にご承認を得まし
たとおりでございます。

その後、両市町議会の 3 月定例会におきまして、関係予算の議決
を得ましたので、2 ページの専決処分書のとおり平成 2 5 年 3 月
2 5 日付け専決第 1 号を持って平成 2 5 年度予算の専決処分を
行ないました。

なお、予算の詳細につきましては、3 ページに記載しましたと
おり予算の総額は、歳入歳出それぞれ 2 千 6 2 万 6 千円ござい
ます。

以上、説明とさせていただきます。

鈴木会長

はい。以上が事務局からの説明でございます。

ただいまの説明に対しまして、皆様からのご質疑をございまし
たらお願いをいたします。

——— 質疑応答なし ———

よろしいでしょうか？

それでは、ご質問等ないようでございます。

報告第 1 3 号の専決処分につきましては、報告事項というこ
とでございますので、そのようなことをご了承をいただきたいと思
います。

報告第 1 4 号 合併協定項目の具体的な調整結果について

では次に、報告第 1 4 号 合併協定項目の具体的な調整結果に
ついてであります。事務局から説明を願います。

糸井 T L

はい。事務調整班の糸井と申します。よろしくお願いいたします
ます。

合併協定項目（Aランク）の調整結果についてご説明申し上げます。

資料の4ページをお開きください。

合併協定項目の調整結果につきましては、調整方針が、合併時に再編する協定項目、協議会に上程後、協議等により調整内容が変更となった協定項目、又は協定項目の具体的な調整結果の内容につきまして報告するものでございます。

それでは、6ページをご覧ください。「合併協定項目25-15 その他の福祉事業」のうち、こども医療費助成についてでございます。こども医療費助成につきましては、両市町でこれまで同様の事業内容でございましたので、調整の方針は「現行のとおり」とするものでございましたが、栃木市において、平成25年4月1日から現物給付対象年齢が3歳未満から小学6年生までに拡大され助成方法に差異が生じることになったため、調整の結果としましては、「栃木市の例により合併時に統合する」といたしました。

なお、岩舟町におきましては、平成25年9月1日から、現物給付対象年齢を栃木市と同様に拡大する予定でありますことを申し添えます。

次に、「合併協定項目25-18 環境対策事業」のうち、環境基本計画につきましては、「栃木市の例により合併時に統合する」とするものでございましたが、調整の結果としましては、「栃木市において平成24年度に策定しました環境基本計画を新市の計画とし、合併後に岩舟地域の地域別施策及び一部の数値目標を加えたものに改定する」といたしました。

次に、「合併協定項目25-28 青少年健全育成事業」のうち、青少年育成センターについてでございます。青少年育成センターに置かれている少年補導員につきましては、「合併後再編する」とするものでございましたが、他の地域の均衡を考慮し、岩舟地域を10人程度とし、「栃木市の例により合併時に統合する」といたしました。

次に、7ページをご覧ください。「合併協定項目25-27 社会教育事業」のうち、成人式についてでございます。成人式につきましては、「合併時に再編する」とするものでございましたが、各地域の独自性を尊重するため、「合併時は現行のとおりとする」とし、各地域単位で実施する、といたしました。

次に、「合併協定項目14 一部事務組合等の取扱いについて」

のうち、佐野地区広域消防組合についてでございます。岩舟町が加入している佐野地区広域消防組合につきましては、調整の方針は「合併の前日をもって解散するよう調整する。組合の財産の処分等については、合併時まで調整する」とするものでございましたが、関係団体との協議により、「解散日は、平成26年3月31日とする」といたしました。

なお、組合の財産の処分等につきましては、現在協議中でありますので、後日、結果をご報告する予定でございます。

次に、「合併協定項目25-6 消防防災関係事業」のうち、栃木市消防本部につきましては、調整の方針は「佐野地区広域消防組合の解散の日の翌日から、合併前の岩舟町の区域を管轄する」とするものでございましたが、前述の内容を受けまして、「栃木市消防本部は、佐野地区広域消防組合の解散の日の翌日である平成26年4月1日から合併前日の平成26年4月4日までは、岩舟町から委託を受け管轄する」といたしました。

次に、8ページをご覧ください。「合併協定項目17 補助金、交付金等の取扱い」、についてでございます。はじめに、人権対策運動団体活動費補助金につきましては、「合併時に再編」というものでございましたが、両市町の各団体がそれぞれ統合する方向で進んでおりますので、調整の結果としましては、「合併時に栃木市の制度に統合する」といたしました。

次に、防犯灯の電気料等の補助金についてでございます。防犯灯電気料等の補助金につきましては、「合併後に再編」とするものでございましたが、設置費及び電気料を含めた維持管理費につきましては、両市町とも平成26年度から自治体が負担する計画でございますので、「合併時に廃止する」といたしました。

次に、家庭教育オピニオンリーダー補助金についてでございます。「合併後に再編」とするものでございましたが、調整の結果、「合併時に栃木市の制度に統合する」といたしました。

次に、住宅用太陽光発電システム設置費補助金につきましては、「合併後に再編」とするものでございましたが、調整の結果、「栃木市の例により合併時に統合する」といたしました。

次に、9ページをご覧ください。「合併協定項目15 使用料、手数料の取扱い」、についてでございます。始めに使用料でございます。「学校施設」、10ページの「体育施設」、11ページの「公民館」及び12ページの「集会所」の使用料につきましては、栃木市では、施設使用料の改定を行っており、類似する施設

の使用料を統一しております。調整の方針は「栃木市の例により合併時に統合する」こととしておりますので、栃木市にあります岩舟町の各施設と類似する同規模の施設使用料を基準に、岩舟町の各施設の使用料を改定することとしております。具体的には、9ページの「学校施設」につきましては、1時間ごとの料金体系となり、利便性が増すと思われまます。また、岩舟中学校弓道場を除き減額となります。次に、10ページの「体育施設」でございますが、夜間照明施設、テニスコートの使用料は減額となりますが、野球場、武道館等は若干増額となります。次に、11ページの「公民館」でございますが、講義室などが増額となりますが、その他の施設では午後5時以降の使用の場合では、減額となります。次に、12ページの「集会所」でございますが、利用時間が細分化されたことにより、各施設とも同額又は増額となります。

次に、13ページをご覧ください。手数料でございます。「住民基本台帳カードの交付手数料」につきましては、栃木市では、従来1件500円、65歳以上及び身体障害者手帳等をお持ちの方は無料という現況でございましたが、平成25年4月15日から新規発行の場合は無料、再発行の場合500円と改定になっておりますので、現況の変更と、それに併せて結果としてご報告させていただくものでございます。

14ページから26ページには、別表としまして、栃木市の「体育施設」及び「公民館」の施設使用料の現況を掲載してございます。

続きまして、27ページをお開きください。「合併協定項目11 特別職の身分の取扱い」についてでございます。ほとんどの特別職につきましては、現行の栃木市のとおりとするという調整結果でございます。主な特別職について、ご説明いたします。

28ページをご覧ください。1段目の「栃木市教育委員会」につきましては、「現行の栃木市のとおりとする。ただし、岩舟地域からの選出委員を1人追加し、定数を7人とする。」という調整結果でございます。

次に、30ページをご覧ください。1段目の「栃木市地域自治区、大平町、藤岡町、都賀町、西方町の地域協議会」でございます。こちらにつきましては、「現行の栃木市のとおりとする。ただし、岩舟町に地域協議会を設置する。」というものでございます。定数は15人以内、任期は選任の日から平成27年3月31日までという調整結果でございます。

次に、35ページをご覧ください。1段目の「栃木市学童保育運営委員会」につきましては、「現行の栃木市のとおりとする。ただし、岩舟地域からの選出委員を2人（学校の職員1人、利用保護者の代表1人）追加し、定数を14人以内とする。」という調整結果でございます。

次に、37ページをご覧ください。3段目の「栃木市ブランド推進協議会、いわふねブランド認定審査会」につきましては、「合併時は現行のとおりとし、合併後に新市のブランドの統合に合わせて再編をする。」という調整結果でございます。

次に、38ページをご覧ください。1段目の「栃木市都市計画審議会」につきましては、「現行の栃木市のとおりとする。ただし、岩舟地域からの選出委員を1人追加し、定数を19人以内とする。」という調整結果でございます。

次に、40ページをご覧ください。2段目の「栃木市立学校給食共同調理場運営協議会」につきましては、「現行の栃木市のとおりとする。ただし、岩舟地域からの選出委員を2人追加し、定数を29人以内とする。」という調整結果でございます。

次に、42ページをご覧ください。2段目の「栃木市地域自治区、大平町、藤岡町、都賀町、西方町の区長」につきましては、「現行の栃木市のとおりとする。ただし、岩舟町の区域に地域自治区区長を設置する。」任期は選任の日から平成27年3月31日までという調整結果でございます。

次に、5段目の「宮の下簡易郵便局事務取扱員」につきましては、「現行の岩舟町のとおりとする。」という調整結果でございます。

次に、49ページをご覧ください。一番下の段「栃木市母子保健推進員」につきましては、「現行の栃木市のとおりとする。ただし、岩舟地域の推進員を17人追加し、定数を142人とする。」という調整結果でございます。

53ページから56ページにつきましては、「特別職の選任に関すること」、「特別職の期末手当及び退職手当に関すること」、「特別職・非常勤特別職の報酬・費用弁償に関すること」、「非常勤特別職の勤務条件に関すること」、「非常勤職員の公務災害補償に関すること」などについての調整結果でございます。

以上で、説明を終わります。よろしく申し上げます。

鈴木会長

はい。以上が事務局からの説明でございます。

糸井 T L	<p>ただいまの説明に対しまして、皆様からご質疑等ございましたらお願いをいたします。あるいは、ご不明な点でも結構でございますが、よろしいでしょうか？</p> <p>——— 質疑応答なし ———</p> <p>はい。それでは、ご質疑等ないようでございますので、これにて打ち切らせていただきまして、これについても報告ということでございますので、このような報告でご了承をいただきたいと思っております。</p> <p>なお、もし何かありましたら後の時におっしゃっていただければと思います。</p> <p>では、とりあえず先に進めさせていただきますので、報告第15号 合併協定項目以外の主な調整結果についてであります。事務局から説明を願います。</p> <p>報告第15号 合併協定項目以外の主な調整結果について</p> <p>はい。合併協定項目以外（B・Cランク）の調整結果についてご報告申し上げます。</p> <p>資料の60ページをご覧ください。はじめに、Bランク「隣保館に関すること」でございます。調整内容は、「岩舟町には隣保館がないため、合併時に統合する」というものでございましたが、具体的には、大平隣保館と厚生センターの2カ所を人権課題解決の拠点として事業を展開していく、といたしました。</p> <p>次に、「防犯灯の設置及び管理に関すること」でございます。調整内容は、これまで両市町で管理の方法に差異がございましたので、「合併時に再編する」というものでございましたが、平成26年度からそれぞれ自治体で防犯灯の維持管理を行い、電気料も負担することとしておりますので、調整結果としましては、防犯灯については、合併時から市が維持管理を行い電気料も負担する、といたしました。</p> <p>次に、61ページをご覧ください。「市民無料法律相談に関すること」でございます。調整内容は、「栃木市の例により合併時に統合する。岩舟町では、隔月1回行うこととする。」というものでございましたが、具体的には、岩舟地域で行う無料法律相談は、偶数月の8日に、社会福祉協議会で行う心配ごと相談日に合わせて行う、といたしました。なお、詳細は記載のとおりでござ</p>
--------	--

います。

次に、「総合相談に関すること」でございます。調整内容は、「栃木市の例により合併時に統合する」というものでございましたが、具体的には、岩舟地域で行う総合相談は、社会福祉協議会で行う心配ごと相談日に合わせて、毎月8日に行う、といたしました。

次に、「資源再利用化事業（集団回収）に関すること」でございます。調整内容は、「合併時は現行のとおりとし、栃木市の例により合併後に再編する」というものでございましたが、具体的には、合併時から、資源物回収活動を実施した団体に対し、回収量1kgにつき3円、年間10万円を限度として報償金を交付する、といたしました。

次に、62ページをご覧ください。Cランク「人権推進に係る啓発に関すること」でございます。両市町で同様に実施していた事業に加え、栃木市のみで実施している事業についても、合併時から同様に実施していく、といたしました。

次に、「同和問題に係る民間運動団体への委託事業に関すること」でございます。両市町が事業を委託しておりますそれぞれの団体につきましては、各団体ごとの両市町における組織の合併を促し、現行の栃木市のとおり実施していく、といたしました。

次に、「車両の安全運行管理に関すること」でございます。「道路交通法」の規定により設置する、車両の安全運転管理者につきましては、現行のとおり継続する、といたしました。

次に、63ページをご覧ください。「専用車の運行管理に関すること」でございます。岩舟町の特別職の専用車につきましては、合併時に廃止し、特別職の専用車につきましては、栃木市の例により合併時に統合する、といたしました。

次に、「建設工事及び建設工事関連業務の入札参加希望者の資格審査と入札参加資格者名簿に関すること」でございます。建設工事等の入札参加希望者の資格審査につきましては、平成24年度中に同じ基準により行うこととしておりましたが、両市町それぞれの基準により行い、岩舟町の入札参加資格の登録は新市に引き継ぎ、格付けにつきましては、合併時に栃木市の格付け基準との整合を図り統一する、といたしました。

次に、「物品購入等の入札参加希望者の資格審査と入札参加資格者名簿の登録に関すること」でございます。物品購入等の入札参加者希望者の資格審査につきましても、平成24年度中に同じ

<p>鈴木会長</p>	<p>基準により行うこととしておりましたが、岩舟町におきましては、平成25年度に入札参加資格審査制度を設け、登録手続きを行い、新市に引き継ぐこととする、といたしました。</p> <p>次に、「小規模物品等契約希望者登録に関すること」でございます。こちらも物品購入等の資格審査と同様、岩舟町におきまして平成25年度に制度を設け、これにより行った登録は新市に引き継ぐ、といたしました。</p> <p>次に、「出動体制（消防団）に関すること」でございます。消防団の各分団の出動範囲については、現行のとおりとし、災害拡大時等における旧市町境の特命出動については、消防本部の判断により円滑に行うこととする、といたしました。</p> <p>次に、64ページをご覧ください。「ごみ集積所に関すること」でございます。ごみ集積所の新設、廃止、移設等の申請につきましては原則として、合併時から地域クリーン推進員が行う、といたしました。</p> <p>次に、「レジ袋削減推進協議会に関すること」でございます。レジ袋削減推進協議会につきましては、合併時に岩舟地域の事業者及び商工会を加える、といたしました。</p> <p>次に、「人材育成事業に関すること」でございます。人材育成事業につきましては、栃木市の例により合併時に統合し、女性・青年の能力開発・人材育成を目的に実施される各種事業に対し、支援を行う、といたしました。</p> <p>次に、「男女共同参画推進事業に関すること」でございます。「合併後に再編する」こととしておりましたが、栃木市の例により合併時に統合し、男女共同参画に関する施策を、総合的かつ計画的に推進する、といたしました。</p> <p>次に、65ページをご覧ください。「男女共同参画地域推進員に関すること」でございますが、「合併後に再編する」こととしておりましたが、栃木市の例により合併時に統合し、岩舟地域の推進員を加える、といたしました。</p> <p>以上で、説明を終わります。</p> <p>以上が、合併協定項目以外の主な調整結果についてのご説明でございます。それでは、皆様から何かありましたらお願いをいたします。</p> <p>——— 質疑応答なし ———</p>
-------------	---

<p>山野井 T L</p>	<p>はい。それでは、ないようでございますので質疑を閉じさせていただきます。これにつきましても、報告事項ということでございますので、このような結果でご了解をいただきます。</p> <p>報告第16号 合併に係る啓発用品等について</p> <p>では、報告第16号 合併に係る啓発用品等についてであります。事務局から説明を願います。</p> <p>はい。それではよろしくお願ひします。 会議資料①の66ページをご覧ください。 「報告第16号 合併に係る啓発用品等について、別紙のとおり作製するので報告する」というものでございます。 67ページをご覧ください。</p> <p>はじめに、合併啓発用品でございますが、栃木市と岩舟町の合併を住民の皆様幅広く啓発し、合併に対する機運を高めるために、懸垂幕と横断幕を合わせて6枚作製し、栃木市役所本庁及び各総合支所並びに岩舟町役場に設置するとともに、のぼり旗を70本作製いたしまして、両市町の各施設に設置するものがございます。</p> <p>また、ポケットティッシュにつきましては、2万個作製し、栃木市、岩舟町並びに栃木県の各施設等で配布を予定しております。</p> <p>さらに、小中学生を対象とした合併に関する情報発信のため、小中学生向けリーフレットを作成し、両市町の各小中学校へ配付することにより、合併に対する啓発を行う予定でございます。</p> <p>なお、啓発時期でございますが、懸垂幕やポケットティッシュ等については10月頃からの掲示、配布を予定しております。また、小中学生向けリーフレットにつきましては、来年1月の配付を予定しております。</p> <p>次に、くらしのガイドブックにつきましては、特に岩舟町の皆様にとっては、合併により行政組織や行政サービスが大きく変わりますので、合併に伴う不安を解消するために、新市の組織、制度変更、新たに適用される制度などの情報を掲載したガイドブックを作成し、来年1月ごろに岩舟町の各戸へ配付する予定でございます。</p> <p>以上、説明とさせていただきます。</p>
----------------	--

鈴木会長

報告第16号についての、報告でございます。
それでは、皆様から何かございましたらお願いをいたします。

——— 質疑応答なし ———

よろしいでしょうか？

それでは、そのような啓発を行っていくということでございます。報告事項でございますので、ご了承いただきたいと思います。
では以上で、報告事項に関する議事が終了いたしました。

(2) 審議事項

では続きまして、(2) 審議事項にうつります。

審議事項につきましては、議案第15号 平成24年度栃木市・岩舟町合併協議会歳入歳出決算についてであります。事務局より説明願います。

議案第15号 平成24年度栃木市・岩舟町合併協議会歳入歳出決算について

山野井 T L

よろしくお願いたします。それでは、会議資料②の1ページをご覧ください。

「議案第15号 平成24年度栃木市・岩舟町合併協議会歳入歳出決算について、別紙決算書のとおり、その監査報告を添えて認定に付する。」というものでございます。

はじめに、29ページをご覧ください。平成24年度事業報告書からご説明申し上げます。

この事業報告書は、昨年5月の第5回合併協議会において承認された平成24年度事業計画に沿って作成いたしました。

1 「合併協議会の開催」でございます。

平成24年度の会議の開催状況につきましては、29ページから31ページに記載しましたとおり、第5回合併協議会を昨年5月に開催し、その後今年2月の第11回合併協議会に至るまで合計7回の協議会を開催し、「合併の期日」をはじめ「合併市町村基本計画」などについて協議を行ない、55項目全ての協定項目について確認を頂きました。

次に31ページをご覧ください。

2 「合併協定項目その他合併に必要な事項についての調整」

でございます。

栃木市と岩舟町が実施している事務事業や制度の違いによって、合併後、住民のみなさまが混乱を招かぬように、また、合併効果を発揮した行政サービスができるように、事務や制度などを調整してまいりました。

合併協定項目については、法律に定めがあるものや特に住民生活に関わりが深いものを55項目の合併協定項目として位置づけ、正副会長・幹事会合同会議を経たのち、合併協議会において調整方針を協議し確認を頂きました。

また、合併協定項目以外の項目として、Bランクに位置づけられた289の事務事業やCランクに位置付けられた1,177の事務事業については、正副会長・幹事会合同会議を経たのち、合併協議会に調整方針が報告されました。

次に32ページをご覧ください。

3 「合併市町村基本計画の作成」でございます。

合併市町村基本計画は、合併後の新市のマスタープランとして位置づけられたもので、県との下協議、事前協議、そして本協議を経まして県の承認を受けたのち、今年2月の合併協議会において最終確認を頂きました。

4 「事務事業等の一元化」でございます。

合併に伴う例規整備については、合併協定項目の内容と整合性を図りながら例規整備を進める必要があることから、両市町において制定されている約1,300件の例規の洗い出しや例規統一のための準備作業を行ってまいりました。

5 「合併情報の提供」でございます。合併情報の提供につきましては、昨年度に引き続き合併協議会ホームページを開設し、合併協議会の開催案内、会議資料や会議録などを掲載し、随時情報を更新するとともに、「合併協議会だより」を両市町の各戸に配布し、住民の皆様へ情報提供を行ってまいりました。

また、合併協議会の会議については、公開で実施し延べ176名の皆様に会議を傍聴いただきました。以上が事業報告でございます。

次に平成24年度決算についての説明をさせていただきます。

ページは戻りまして4ページ、5ページの平成24年度歳入歳出決算総括表をご覧ください。

予算現額3,565万1千円に対しまして、歳入決算額3,566万3,069円、歳出決算額3,391万8,762円、歳

入歳出差引残額174万4,307円でございます。翌年度へ繰り越すべき財源は0円、実質収支額は、174万4,307円でございます。また、平成23年度実質収支額は1,024万1,724円でございますので、実質収支額から平成23年度実質収支額を差し引いた単年度収支額は-849万7,417円でございます。

少し飛びまして、18ページ、19ページの歳入歳出決算事項別明細書をご覧ください。

歳入でございます。

1款1項1目1節市町負担金につきましては、予算現額2,040万9千円、調定額、収入済額は、いずれも2,040万9千円、不納欠損額、収入未済額は、いずれも0円でございます。なお、負担割合50%に基づきまして、栃木市、岩舟町の負担金は、いずれも1,020万4,500円でございます。2款1項1目1節諸収入につきましては、予算現額1千円、調定額、収入済額は、いずれも12,345円、不納欠損額、収入未済額は、いずれも0円でございます。内訳でございますが、普通預金利子4,224円及び臨時職員雇用保険料の個人負担分の一時預かり金8,121円でございます。

3款1項1目1節県補助金につきましては、栃木県からの合併市町村支援補助金でございますが、予算現額、調定額、収入済額は、いずれも500万円、不納欠損額、収入未済額は、いずれも0円でございます。

1枚めくっていただきまして、20ページ、21ページをご覧ください。4款1項1目1節繰越金につきましては、予算現額1,024万1千円、調定額、収入済額は、いずれも1,024万1,724円、不納欠損額、収入未済額は、いずれも0円でございます。歳入合計の予算現額は3,565万1千円、調定額、収入済額は、いずれも3,566万3,069円、不納欠損額、収入未済額は0円でございます。

1枚めくっていただきまして22ページ、23ページをご覧ください。

歳出でございます。

1款運営費につきましては、予算現額2,379万6千円、支出済額2,219万2,012円、不用額160万3,988円でございます。1款運営費1項1目会議費につきましては、予算現額168万9千円、支出済額84万8,145円、不用額84

万855円でございます。内訳でございますが、1節報酬につきましては、合併協議会に出席された委員さんに対し1回あたり4,500円の報酬を支払いまして、合計61万6,500円、8節報償費につきましては、オブザーバーに対する謝礼、合計48,000円、11節需用費につきましては、41,895円で、消耗品費2,355円と会議時のお茶購入として食糧費39,540円でございます。また、14節使用料及び賃借料につきましては、合併協定調印式時の会場使用料14万1,750円でございます。

次に1款運営費2項1目事務費につきましては、予算現額2,210万7千円、支出済額2,134万3,867円、不用額76万3,133円でございます。内訳でございますが、4節共済費及び7節賃金につきましては、臨時職員の雇用に伴うものでございまして、社会保険料としての4節共済費24万4,841円及び7節賃金162万4,905円、11節需用費につきましては、コピー用紙などの事務用消耗品29万2,763円、12節役務費につきましては、主に合併市町村基本計画を作成するにあたり住民アンケートを実施しました際の郵送料など80万7,530円、14節使用料及び賃借料につきましては、会議資料などを作成する際に使用したコピー機の借り上げ料97万3,828円、23節償還費利子及び割引料につきましては、両市町へ各々870万円を返還した償還金1,740万円でございます。

続いて24ページ、25ページをご覧ください。

2款事業費につきましては、予算現額1,175万5千円、支出済額1,172万6,750円、不用額28,250円でございます。内訳でございますが、2款事業費1項1目事業推進費13節委託料といたしまして、合併市町村基本計画の策定などに向け業務委託を行った委託料955万5千円、条例などの整備にあたり基礎資料の収集・整理を目的として業務委託を行った委託料215万2,500円、また、住民アンケートを実施する際に作業委託を行った委託料1万9,250円でございます。

次に3款1項1目予備費でございますが、予備費の充用はございませんでしたので、10万円が不用額となりまして、歳出合計の予算現額は、3,565万1千円、支出済額は3,391万8,762円、不用額は、173万2,238円でございます。

最後に27ページをご覧ください。参考資料といたしまして平成24年度末現在の財産目録を添付いたしました。現金繰越額1

鈴木会長	<p>74万4,307円など財産は記載のとおりでございます。</p> <p>以上、平成24年度歳入歳出決算についての説明とさせていただきます。ご審議のほどよろしくお願いいたします。</p>
板倉監査委員	<p>はい。以上が説明でございます。なお、決算に関しましては、監査委員の方々から監査をいただいておりますので、監査委員を代表いたしまして、栃木市の板倉監査委員さんのほうから監査のご報告をお願いしたいと思います。</p> <p>はい。監査委員の板倉でございます。よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、監査委員を代表いたしまして、平成24年度栃木市・岩舟町合併協議会決算監査についてご報告いたします。</p> <p>平成25年6月26日、栃木市大平総合支所第2会議室において、池田委員と私板倉で、平成24年度栃木市・岩舟町合併協議会歳入歳出決算書及び証拠書類の内容について監査いたしました。いずれも適正に処理されておりましたのでご報告いたします。</p> <p>平成25年7月29日 栃木市・岩舟町合併協議会 会長 鈴木俊美様 栃木市・岩舟町合併協議会 監査委員 池田 務 同 板倉 安秀</p> <p>以上、ご報告申し上げます。</p>
鈴木会長	<p>はい。ありがとうございます。</p> <p>以上、監査委員さんからの決算監査でございます。</p> <p>では、以上を踏まえまして、議案第15号に関する質疑に移らせていただきます。皆様から何かございましたらお願いをいたします。</p> <p>——— 質疑応答なし ———</p> <p>よろしいでしょうか？</p> <p>では、質疑がないようでございますので、質疑を閉じさせていただきます。これにつきましては、審議事項でございますので、お諮りをさせていただきます。</p> <p>議案第15号 平成24年度栃木市・岩舟町合併協議会歳入歳</p>

山野井 T L

出決算につきまして、原案のとおりご承認を賜れます方、拍手でお願いをいたします。

——— 出席委員より拍手あり ———

ありがとうございます。

ただいまの拍手をもちまして、議案第15号につきましては、ご承認をいただきました。

**議案第16号 平成25年度栃木市・岩舟町合併協議会補正予算
(第1号) について**

では続きまして、議案第16号に移ります。

平成25年度栃木市・岩舟町合併協議会補正予算(第1号)についてであります。事務局から説明を願います。

はい。それでは、よろしくお願ひいたします。

会議資料②の33ページをご覧ください。

「議案第16号 平成25年度栃木市・岩舟町合併協議会補正予算(第1号)について、別紙のとおり提案する。」というものでございます。

34ページをご覧ください。

平成25年度栃木市・岩舟町合併協議会歳入歳出補正予算第1号案でございます。

歳入歳出予算につきましては、先ほど平成24年度決算の承認を受けまして、平成24年度の残額が174万4,307円ございますので、この残額を平成25年度予算へと繰り入れるため、歳入歳出予算総額をそれぞれ2,237万円へと補正をするものでございます。

内訳でございますが、歳入につきましては、4款1項1目1節繰越金を当初予算0円から補正額174万4千円を増額し、歳入合計を当初予算2,062万6千円から2,237万円へと補正するものでございます。

また、歳出につきましても、歳入の増額に伴い3款1項1目1節予備費を当初予算5万円から補正額174万4千円を増額し、179万4千円へと補正し、歳出合計を当初予算2,062万6千円から2,237万円へと補正するものでございます。

以上、説明とさせていただきます。

鈴木会長	<p>ご審議のほどよろしく願いいたします。</p> <p>はい。以上が、議案第16号に関する説明でございます。それでは、皆様から何かありましたらお願いをいたします。</p> <p>——— 質疑応答なし ———</p> <p>よろしいでしょうかね？</p> <p>それでは、質疑を閉じさせていただきます。お諮りをいたします。議案第16号 平成25年度栃木市・岩舟町合併協議会補正予算（第1号）につきましては、原案のとおりご承認を賜れます方、拍手にてお願いをいたします。</p> <p>——— 出席委員より拍手あり ———</p> <p>はい。ありがとうございます。</p> <p>それでは、皆さんの拍手によりまして、ご承認をいただきました。</p>
山野井TL	<p>議案第17号 平成25年度栃木市・岩舟町合併協議会事業計画について</p> <p>では、議案第17号 平成25年度栃木市・岩舟町合併協議会事業計画についてであります。事務局から説明を願います。</p> <p>それでは、よろしく願いいたします。</p> <p>会議資料②の35ページをご覧ください。</p> <p>「議案第17号 平成25年度栃木市・岩舟町合併協議会事業計画について別紙のとおり提案する。」というものでございます。</p> <p>36ページをご覧ください。事業計画案についてご説明いたします。</p> <p>主な事業といたしまして4つの事業項目を提案させていただきましたが、具体的には来年4月5日の合併に向けて、例規の整備や電算システムの統合などといった合併準備の作業が中心となるほか、昨年度と同様に合併に関する情報の提供は、ホームページへの掲載や協議会だよりの発行などにより提供を行う予定でございます。</p> <p>それでは、事業項目と事業内容を読み上げまして説明に代えさ</p>

鈴木会長	<p>せて頂きます。</p> <p>1 「合併協議会の開催」でございます。「合併協定項目の調整方針に基づき調整された協議事項について、具体的な調整結果を報告するため、合併協議会を開催する。また、その他必要に応じて合併協議会を開催する。」というものでございます。</p> <p>2 「合併協定項目その他合併に必要な事項についての調整」でございます。「市町村の合併の特例に関する法律に定める協議事項、その他必要な協議事項を専門的に検討し、調整結果を作成する。」というものでございます。</p> <p>3 「事務事業等の一元化」でございます。「事務事業一元化の調整方針に基づき、条例・規則等の例規立案を行う。また、電算システム及びネットワークシステムの調整方針に基づき、電算システム統合及びネットワークシステムの構築を行う。」というものでございます。</p> <p>4 「合併情報の提供」でございます。「住民の皆様への合併情報の提供については、合併協議会だよりを発行するとともに、合併協議会公式ホームページに合併情報を掲載する。また、合併啓発用品を作製し、合併に向けた機運の醸成を図る。」というものでございます。</p> <p>以上、説明とさせていただきます。ご審議のほどよろしく願いいたします。</p> <p>以上が、平成25年度栃木市・岩舟町合併協議会事業計画案でございます。皆様から、何かございましたらお願いをいたします。</p> <p>——— 質疑応答なし ———</p> <p>よろしいでしょうか？</p> <p>はい。では、質疑は閉じさせていただきますお諮りをいたします。議案第17号 平成25年度栃木市・岩舟町合併協議会事業計画につきましては、原案のとおりご承認を賜れます方、拍手にてお願いをいたします。</p> <p>——— 出席委員より拍手あり ———</p> <p>はい。ありがとうございます。</p> <p>それでは、ご承認をいただきましたので、案を消していただき</p>
------	--

<p>天海事務局長</p>	<p>たいと思います。</p> <p>以上で、全ての議事が終了したわけですが、続きまして、4、5についても私のほうで進行をさせていただきます。</p> <p>4. 第13回栃木市・岩舟町合併協議会の開催日時について</p> <p>4につきましては、第13回栃木市・岩舟町合併協議会の開催日時についてであります。事務局から説明を願います。</p> <p>それでは、次回第13回合併協議会の開催日時について、お知らせをいたします。次回は、11月25日 月曜日 午前10時から、会場は、栃木市の国府公民館 となります。</p> <p>なお、次回11月の合併協議会、そして来年1月に予定しております合併協議会、2回の開催で合併協議会を閉じる予定でございます。以上でございます。</p>
<p>鈴木会長</p>	<p>はい。以上でございますが、これは日程のお知らせですので質疑等はよろしいかと思いますが、よろしいですか？</p> <p>——— 一同了承 ———</p> <p>はい。</p> <p>それでは、最後に 5 その他 であります。まず事務局から何かありますか？</p>
<p>天海事務局長</p>	<p>事務局から1点ございます。</p> <p>この合併が最終的に決定される総務大臣の告示についてでございます。</p> <p>8月下旬頃には、官報に掲示される見込みでございます。</p> <p>これをもちまして、法的な合併の手続きがすべて完了することになります。</p> <p>委員の皆様には、その時点で改めてお知らせすることはいたしません。ご承知おきくださいますようお願いいたします。</p> <p>なお、次回の合併協議会にて、総務大臣告示の写しを、お示しする予定でございます。</p> <p>以上でございます。</p>
<p>鈴木会長</p>	<p>はい。それでは、委員の皆様から何かございましたら、お願い</p>

天海事務局長	<p>をいたします。この間に思い出されたことでも、何でも結構でございますので、ございましたらお願いいたします。</p> <p>——— 発言等なし ———</p> <p>大丈夫でしょうか？</p> <p>それでは、ないようでございます。これにて、その他につきましても閉じさせていただきます。</p> <p>では、マイクを事務局のほうに戻します。</p> <p>6. 閉会</p> <p>それでは、会議を閉じさせていただきます。</p> <p>ただいまの時間は3時でございます。この時間を会議閉会時刻と定めまして、第12回栃木市・岩舟町合併協議会を閉会いたします。大変ありがとうございました。</p>
--------	---